

生産性・品質向上のためのITの活用を図る企業の 好事例発表及び意見交換 実施報告

岐阜県職業能力開発協会 岐阜県技能振興コーナー

1. 日 時：平成30年11月5日（月）13:30～15:50
2. 会 場：岐阜県職業能力開発協会 研修室（5階）
3. 好事例発表企業・団体：（3名）
①豊実精工株式会社、②特定非営利活動法人ITC中部、③公益財団法人ソフトピアジャパン
4. 意見交換会参加企業・団体：（10社・団体、18名）
①株式会社岩田製作所、②株式会社カワイ、③株式会社恵美製作所、
④株式会社サンクラフト、⑤株式会社日本パーツ製作所、⑥株式会社オンダ製作所、
⑦川崎岐阜協同組合、⑧ヤマザキマザックオプトニクス株式会社、
⑨岐阜県立国際たくみアカデミー、⑩日本総合ビジネス専門学校
（中小企業実技指導関連ものづくりマイスター：4名）
5. ITを活用した生産性向上の取組を実施する企業の好事例発表

好事例発表① 豊実精工株式会社（主な事業：産業機械の精密部品加工及び機械設計・組立）
取締役 統括営業本部長 松本 裕靖 様
「“見える化”の実践から作業効率・顧客満足度の向上
～IT活用と情報共有のメリット～」

① IT活用の目的

「見える化」、「作業時間短縮」、「即時性（顧客満足度向上）」

② IT活用のメリット（実現できた事）

- ・作業効率の向上：リアルタイムでの進捗把握、業務効率の向上、コスト・リードタイムの削減
- ・情報共有：目標の明確化、稼働率向上、担当工程前後を意識（モチベーション向上）
- ・データベース化：売上・仕入予測、管理工数の削減、顧客満足度&売上の向上

③ Q & A

Q1：IT化による具体的な効果は？

→T A T効果=年間720時間程度、人件費=
入力担当事務員1名分、材料費=2～3割削減



好事例発表② 特定非営利活動法人ITコーディネータ協会 理事
特定非営利活動法人ITC中部 副理事長
水口 和美 様
「中小企業におけるITを活用した生産性向上について」

① IT活用に対する状況

- ・モノのデジタル化・ネットワーク化拡大、AIによる大量のデータの解析
- ・経済産業省による「中小サービス等生産性戦略プラットフォーム」の実施
「IT導入補助金」を活用してIT化を推進するチャンス（平成30年12月18日応募締切り）

②中小企業のIT活用について

- ・情報の共有・意思決定のスピードアップのためにITツールを活用したい企業はあるが、導入コストが障壁。無料ツールを活用する事で、多くの実現可能性
- ・「IT導入無料相談室」の活用
導入検討コスト・期間の短縮可能



③Q&A

- Q1：情報交換ツールの中小企業での導入目的は何か
→「直接対応」「迅速な情報共有・応答」が
メリット

好事例発表③ 公益財団法人ソフトピアジャパン

IOTコンソーシアム事務局運営室 室長 太田 英昭 様
「ソフトピアジャパンのIoT推進の取組について」

① 岐阜県IoTコンソーシアムについて

IOT技術の活用等による成功事例創出と横展開の実施

- ・セミナー・実践研修等の実施
- ・「岐阜県IoTコンソーシアムワーキンググループ事業費補助金」にて、IoT導入・実証、研究・開発経費への助成事業（最大500万円、対象金額の1/2まで補助）
- ・岐阜県「中小企業等IoT導入促進補助金」にて、IoT導入・活用経費への助成事業（最大1,000万円、対象金額の1/2まで補助）

② 専門家派遣による個別企業の業務改善等の支援施策

個別企業へ専門家派遣による業務改善等の支援施策

- ・「スマートものづくり応援隊事業」
「IoT活用支援隊事業」を実施
県内にある「ものづくり中小企業」のよき「相談相手」
を目指し活動中



6. ものづくりマイスターによるITを活用した生産性向上等に関する実技指導の事例

今年度、機械加工の実技指導による数値制御加工機械のプログラムデータの入力・管理方法を指導して当該作業の生産性向上及び品質向上を図る取組を実施した。

7. 意見交換会（進行役：ITマスター）

① ITの活用を段階的に進めている。

日程・スケジュール管理から始める。製造データの管理をどのように進めていくかが課題となる。

② 導入コストの問題で情報共有がまだできていない。

今回事例にあった無料ツールを活用し情報共有を検討したい。

③ ITの活用に関しては社内で独自に進めている。

社員間のコミュニケーションツールの活用を検討したい。

④ ITの活用をする場合、先ずアナログベースで仕組みを構築した後、IT化を進めている。

⑤ 生産工程の管理に活用している。

タイムリーに情報更新しても、更新情報を如何に早く全員が認識するかが課題となる。

⑥ IT・IoTは重要な手段となっている。

IT化を進める時に、本来、人対人でのコミュニケーションにより対応すべき事との区分けが必要である。

- ⑦ ビジネス教育では、チャット・グループウェア・プロジェクト管理ツールを活用している。
- ⑧ 在職者訓練について、IoT関係の指導に関する取組が遅れている。
まずは指導できる人材の確保から検討していきたい。
- ⑨ 中小企業ではネットワークセキュリティーの管理ができていない企業も存在するので、この部分の指導も重要である。



8. 全体総括

本事業のITに関する取組としては、小中学校向けのロボットプログラミングの体験教室を始めたばかりの段階で、実技指導の実績はまだない。今年度よりロボットソフト組込みの指導者（ITマスター）を増やし、来年度より実技指導ができる体制を計画している。

今回、好事例発表並びに岐阜県で既に取り組を進めている団体の発表により、内容の紹介と窓口の人の紹介をした。

本事業として、ものづくりの企業の皆様のために、関係団体と連携して何ができるかという事を踏まえ活動を進める。



9. アンケート結果

- ・満足度 94%
- ・参考になった点
 - IT活用の取り組み方法の参考になった(7)
 - ITツールの活用方法の参考になった(4)
 - IT活用の状況を知ることが出来参考となった(1)
- ・感想、意見
 - セキュリティー対策も含めた活用事例等の情報も欲しい(2)
 - 個々のIT活用事例をもっと知りたい(1)
 - IT化を進めるには、目的を明確にして進める必要があると感じた(1)
 - 中小企業では導入コストの障壁がある。効果とコストの見極めが問題(1)
 - 無料ツールを使って導入効果を確認してみたい(1)
 - 今後も今回のような会を開いてほしい(1)
 - 意見交換の時間がもう少し欲しかった(1)